

各分科会における審議の結果報告

- 別添 1 公物管理等分科会における審議の結果報告
- 別添 2 施設・研修等分科会における審議の結果報告

第 16 回 公物管理等分科会における審議の結果報告 平成 25 年度ヒアリング候補事業の選定等について

『平成 25 年度 事業選定方針及びプロセスについて（平成 25 年 9 月 30 日官民競争入札等監理委員会了承）』に基づき、各府省等が検討を行い回答した調書及びヒアリング候補事業等について、平成 25 年 12 月 4 日開催の第 16 回公物管理等分科会で審議を行った。概要は以下の通りである。

1. 自主的選定の状況

各府省等より自主的選定が行われた事業を選定の対象とすることについて、了承を得た。

2. 今年度ヒアリング候補事業の選定

今年度のヒアリングの候補事業として、事務局が検討した内容を説明し、委員からの意見を踏まえ、対象事業を選定した。

【委員からの主な意見】

- ヒアリングの対象として全件妥当である。
- ヒアリング候補事業が多数となっていることから、優先順位をつけてヒアリングを実施していくべき。
- ヒアリング候補事業に原子力関係の業務がいくつか含まれていることから、ヒアリングに際しては原子力関連業務に知見のある方に参加を要請してはどうか

3. 来年度以降ヒアリング候補事業の選定

来年度以降のヒアリング候補事業（改善を要請する事業）として、事務局が検討した内容を説明し、委員からの意見を踏まえ、対象事業を選定した。

【委員からの主な意見】

- 来年度以降のヒアリング対象候補として全件妥当である。

4. その他

公共サービス改革基本方針（平成 25 年 6 月閣議決定）にて、具体的な内容が未確定となっている事業等に関して、ヒアリングの実施等今後の進め方について事務局から説明し、了承を得た。

以上

第 39 回 施設・研修等分科会における審議の結果報告 平成 25 年度ヒアリング候補事業の選定等について

『平成 25 年度 事業選定方針及びプロセスについて（平成 25 年 9 月 30 日官民競争入札等監理委員会了承）』に基づき、各府省等が検討を行い回答した調書及びヒアリング候補事業等について、平成 25 年 12 月 9 日開催の第 39 回施設・研修等分科会で審議を行った。概要は以下の通りである。

1. 自主的選定の状況

各府省等より自主的選定が行われた事業を選定の対象とすることについて、了承を得た。

2. 今年度ヒアリング候補事業の選定

今年度のヒアリングの候補事業として、事務局が検討した内容を説明し、委員からの意見を踏まえ、対象事業を選定した。

【委員からの主な意見】

- ヒアリングの対象として全件妥当である。
- 形として複数応札になっていても、その内容を確認しなければならない事業については、より慎重な検討が必要と思われる。
- 同じ省庁の中で似たような業務、同じような問題点があると思われるものについては、一括してヒアリングを行うことで、審議の効率化とともに内容の理解もしやすくなる。

3. 来年度以降ヒアリング候補事業の選定

来年度以降のヒアリング候補事業（改善を要請する事業）として、事務局が検討した内容を説明し、委員からの意見を踏まえ、対象事業を選定した。

【委員からの主な意見】

- 来年度以降のヒアリング対象候補として全件妥当である。

4. 特殊法人が実施する事業

特殊法人が実施する事業について、事務局が検討した内容を説明し、委員からの意見を踏まえ、今後の進め方について了承を得た。

【委員からの主な意見】

- 特殊法人については、漠然と改善と言われても分かりにくい場合もあるので、改善が可能と思われる点を例示、提案するような形も検討すべき。

5. 業務フロー・コスト分析

業務フロー・コスト分析を行う事業について、事務局の検討結果を説明し、委員からの意見を踏まえ、対象事業を選定した。

6. その他

公共サービス改革基本方針（平成 25 年 6 月閣議決定）にて、具体的な内容が未確定となっている事業等に関して、ヒアリングの実施等今後の進め方について事務局から説明し、了承を得た。

以 上